

国際有機農業映画祭は、“有機農業”を主なテーマとして、内外の秀作を上映してきました。2007年の第1回以来、日本初公開の31作品を含む、延べ97作品を上映してきました。これまでの上映作品のうち15作品を、非営利団体の映画祭・上映会用にDVDで貸出しています。ご希望がございましたら、お問い合わせください。映画館などでの商業的上映については、別途ご相談となります。

上映会を開きませんか

77. 食の選択 **初** **有機** **反G** **暮らし**

貸出 2013



2009年/アメリカ/72分 英語・日本語字幕
監督：アナソフィア・ジョアンズ
制作：リップル・エフェクト・フィルムズ

安い、便利といった基準で食を選ぶ人が多い今、食は、効率よく生産できるものに変った。しかし、日々の食は個人の暮らしや健康だけではなく、環境や社会を大きく変えるもの。大量生産と有機的な生産を比較し、未来を守るための食の選択を提案した作品。

【上映条件】上映会規模により変動します。お問い合わせください。

98. 未来の収穫 **初** **有機** **地域** **反G** **環境** **運動** **暮らし**

貸出 2017



2012年/フランス/95分 フランス語・英語・日本語字幕
監督：マリー＝モニク・ロバン

『モンサントの不自然な食べ物』の監督が、南米やアフリカを始めとした世界各国を訪ね、「緑の革命」以来化石燃料に依存してきた農業に代わるものとしてアグロエコロジーが有効であることを証明。日本の有機農業の草分け的存在の埼玉県の霜里農場も登場する。多くの専門家へのインタビューを交えながら、「緑の革命」以降推進されてきた農業食料システムの問題点を指摘し、アグロエコロジーの可能性・優位性を示す。

【上映条件】上映会規模により変動します。お問い合わせください。

101. たね **初** **種子** **有機** **GM** **反G**

貸出 2017



2016年/米国/95分/日本語字幕
監督：タガート・シーゲル、ジョン・ベッツ

在来種のたねは、そのたねが育つ土地の文化の象徴であり、各地で大切に受け継がれるものでもあった。その大切なたねに危機が迫っている。20世紀だけで野菜の94%の在来種が失われたという。“農業の近代化”という大義名分のもと、利益を重視した農業の工業化が進められ、在来種を育てる小規模農家がなくなりつつある。たねが失われることによって、わたしたちの生活に影響はないか。現代社会の問題を追及し、種と人との関係を見つめ直す。

【上映条件】上映会規模により変動します。お問い合わせください。

(2018年2月現在)

国際有機農業映画祭

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

FAX : 03-5155-4767

Email : video@yuki - eiga.com

URL : http://yuki-eiga.com/

36. ビヨンド・オーガニック

初 有機 CSA 地域

貸出 2009



2000年 / 米国 / 33分 英語・日本語字幕
原題: "Beyond Organic The Vision of Fairview Garden"
制作: Center for Urban Agriculture 監督: ジョン・グラフ

開発の進むカリフォルニア。住宅地に囲まれた農場「フェアビュー・ガーデン」を守ったマイケル・エイブルマンの「闘い」の記録。堆肥の臭いや鶏の鳴き声がうるさいと周辺住民から立ち退きを迫られるなか、人々が本当の食べ物に触れ、学ぶための農場経営が地域に受け入れられていく。農場売却という絶対絶命の危機に、CSA会員たちの多額の寄付で、農場はNPOとして存続する。

【上映条件】 貸出 10,000円/回 (送料別)

22. オリーブの木がある限り

初 フェア 平和 反G 運動

貸出 2008



2007年 / フランス / 24分
アラビア語・フランス語吹替・日本語字幕
映像・監督: イヴ・デュシュマン 制作: Solarium A.S.B.L

イスラエルの占領下、壁と経済封鎖に生活は苦しさを増している。そんな中でも、パレスチナの農民はオリーブの木に「ここに生きている」という自らの存在を託し、一家総出の収穫作業に汗を流す。そうした農民と協働するNGO「パレスチナ農業復興委員会(PARC)」は、有機オリーブの搾油工場を作り、国境を越えフランス、日本の市民とフェアトレードでつながる。

【上映条件】 貸出 10,000円/回 (送料別)

54. GMのワナー 農家から農家へー

初 GM 環境 農業

貸出 2011



2011年 / 英国 / 24分 英語・日本語字幕
原題: Farmer to Farmer: The Truth About GM Crops
構成: ペテ・スペラー 制作: ハート・プロダクション・フィルム

イギリスで有機農業を営み、1996年の商業化以来、遺伝子組み換え作物栽培に警鐘を鳴らし続けるマイケル・ハートが、十数年たったアメリカの農家を訪れ、そこで目撃したアメリカの農家が抱える遺伝子組み換え作物栽培の現状とはどんなものか、雑草と作物に対する遺伝子組み換え作物の影響や、費用対効果と環境への影響など遺伝子組み換え作物栽培の実態を報告する。

【上映条件】 貸出 10,000円/回 (送料別)

17. 遺伝子組み換えNON! ~フランスからのメッセージ~

GM 反G 頒布 2008



2004年 / フランス / 28分 フランス語・日本語吹替
監督: シュザンヌ・クルシ

フランスの有機農業者は、遺伝子組み換え作物と有機農業はあいりないことを訴える。遺伝子組み換え種子を世界中に売りまくる多国籍企業モンサントとたたかうカナダの農民パーシー・シュマイザーさんは「もし組み換え作物が有機農家の畑に入り込んだら、その畑は、すべてモンサントのものになる」と警告。遺伝子組み換え作物は有機農業だけでなく農民そのものを農業から排除していく実態を伝える。

【上映条件】 上映権付き頒布 3,000円 (送料別)

34. コメこそアジアのいのち

初 反G 種子 GM 運動

貸出 2009



2007年 / マレーシア / 52分 英語・日本語字幕
原題: "Rice; The Life of Asia"
制作: Pesticide Action Network Asia and the Pacific (PAN)

米を主食とする東南アジアや南アジア各地の様々な形の米にまつわる「祭礼」を通し、稲作と生活、歴史、文化、環境の深い結びつきを描く。その人々の命の糧である米が、WTOの下で、小農民を無視した農業政策や多国籍企業が、人々の生活に大きな脅威となっている状況や、「高収穫米」の導入や農地の収奪に対する農民たちの抵抗運動や農民リーダーの証言などを通して描き出す。

【上映条件】 貸出 10,000円/回 (送料別)

52. それでも種をまく

初 有機 地域 運動 原発

頒布 2011



2011年 / 日本 / 24分

構成：小池菜採 制作：国際有機農業映画祭運営委員会

有機農業は、生命のつながりの中にある。生産者と消費者のつながり、生産者と地域のつながり、そして、循環する生態系とのつながり。しかし、福島第一原発事故とそれによる放射能汚染は、こうしたつながりを暴力的に断ち切った。その痛みの中で、なお「つながり」を取り戻すための種をまこうとしている人びとの姿を追う。英・中・独・仏・タイ・ベトナム・スウェーデン各国語字幕版もある。

【上映条件】 上映権付き頒布 1,500円 (送料別)

3. 農民ジョンの心の土

CSA 有機 地域

貸出 2007



2005年 / 米国 / 84分 英語・日本語字幕

監督：タガート・シーゲル 制作：コレクティブ・アイ

協力：東葛国際映画祭

米国中西部イリノイの風変わりな農民ジョンは、ヒッピー世代の申し子。親から受け継いだ農場を農的コミュニティに変容させるが、保守的な田舎ではつまはじき。悪意に満ちた嘲笑と嫌がらせに傷つくジョンだったが、不屈の農民魂がCSA(地域が支える農業)と結びつき、新たな人との繋がりによって失意を乗り越え、さらには疲弊する地域の家族農業を救うことになる。

【上映条件】 貸出 20,000円/回 (送料別)

86. 偽善の米

初 GM 種子 有機 地域 暮らし

貸出 2015



2014年 / フィリピン / 19分 日本語字幕

制作：グリーンピース

商業栽培が目前とされる遺伝子組み換え(GM)の米ゴールデンライスは、ビタミンA欠乏症の予防を表看板にして、ゲイツ財団などが多額の資金を投入し、国際稲研究所で開発が進められてきた。その背後に控えた諸々のGM作物の商業栽培への突破口だと人々は見抜いている。宗教者、元国際稲研究所の研究者までもがこのGM米に反対し、GM米を食べなくても緑黄色野菜を食べることで解決できると語る。GM米が偽善にすぎないことが浮かび上がってくる。

【上映条件】 貸出 3,000円/回

55. ダート！ どろにこころの物語

初 有機 地域 環境 微生物

貸出 2012



2009年 / 米国 / 80分 英語・日本語字幕

監督：ビル・ベネンソン、ジーン・ロソウ

制作：コモン・グラウンド・メディア

干ばつ、気象変動、戦争さえ、人間がどのように土を扱ってきたかの結果であると原作者ウィリアム・B・ローガンは言う。『Dirt!』この驚くべき土の生命世界は、政治、経済、農業、環境、生態、健康、教育、芸術、すべてが網の目状に「土」と関わり合っていることを教える。それを理解することによって、私たちは私たちの壊してきたものを治すことができる。

【上映条件】 貸出 10,000円/回 (送料別)

65. 太陽の女王 —ミツバチからの問いかけ

有機 GM 環境 農業 暮らし

貸出 2012



2010年 / アメリカ / 82分 英語・日本語字幕

監督：タガート・シーゲル プロデューサー：ジョン・ベッツ

制作：コレクティブ・アイ・プロダクション

ミツバチの置かれている現状を通して、私たちの生き方が問われる。人間は古代からミツバチの恩恵を受けてきた。ところが近年、ミツバチに異変が起きている。人間の都合による虐待でストレスやダニの発生、病気に見舞われた。とどめを刺したのが神経毒性を持つネオニコチノイド系農薬。果ごと全滅するのだ。ミツバチを飼いましょうという、提案もある。

【上映条件】 上映会規模により変動します。お問い合わせください。

100. 我々の土地は今

初 土地 運動 反G 有機

貸出 2017



2015年／フランス／30分 フランス語・英語・日本語字幕
監督：バンジャマン・ポール、ジュリアン・ルネット

小さな土地を家族で耕して食べ、まわりにもおすそ分けし、地域とともに生きてきた農民。その農民がいま、大資本によって土地から引きはがされようとしている。風土に根ざす農法を武器に大資本と対峙し、土地とくらしを守るアフリカ農民の物語。その地に生きてきた人びとの歴史を踏まえ、その地の生態系・風土に沿った小さな農業のモデルと実践を武器に、莫大な資本と先端技術で武装した大規模企業農業と対峙する姿を描いたドキュメンタリー。

【上映条件】 上映会規模により変動します。お問い合わせください。

103. 街を食べる

初 暮らし 食育 都市 反G

貸出 2017



2012年／英国／12分 英語・日本語字幕
監督：スティーブ・ハイ
制作：ハイメディア

イギリス北部の街トッドモーデン。この街では画期的な取り組みを行っている。野菜やハーブ、果物を好きな所に植え、誰でもそれを持って行ってよいのだ。誰もが参加できるこのささやかな取り組みが街と人々を大きく変えていく。

【上映条件】 貸出 1,000円／回